

# 介護保険アンケートへのご協力ありがとうございました



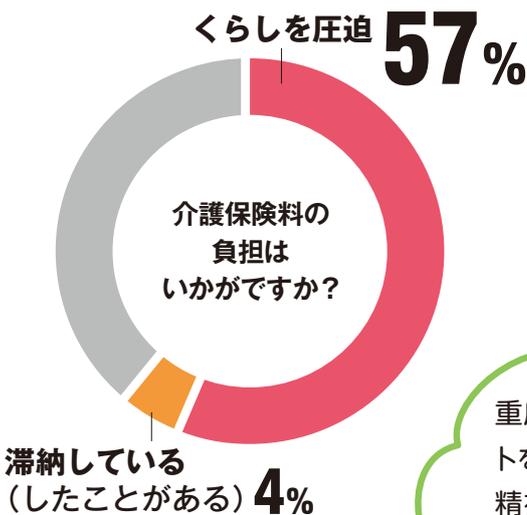
「誰もが費用の心配なく、必要な介護を受けられるように」国は、この願いにこたえどころか、いっそうの切り捨てをすすめている。

日本共産党京都市議員団は、4月から6月にかけて、ホームヘルプとデイサービスの事業所アンケートと、市民のみなさんへのアンケートに取り組みました。

事業所からは104通、市民アンケートは450通(集計中)の回答が寄せられました。

## 市民アンケートに切実な声がよせられました (中間集計)

### 介護保険料が暮らしを圧迫



生活できません。先の見通しは全く立たない。一人そおっと死ぬしかないのでしょうか。

出費を考え介護保険は利用しない。身の回りや風呂の介助、老老介護も限界に近い。施設を増やすことを切に希望する。

重度障害の娘をかかえてパートをしながら84才の父の介護。精神的、肉体的にもう限界です。月7万の年金で老人ホームに入れるようにしてほしい。

73才と68才の2人暮らし。現在は自力でがんばれる状態ですが先々のことを思うと不安です。年金収入のみで赤字続き。何とかしてください。



### 介護現場で働く方からも切実な声が

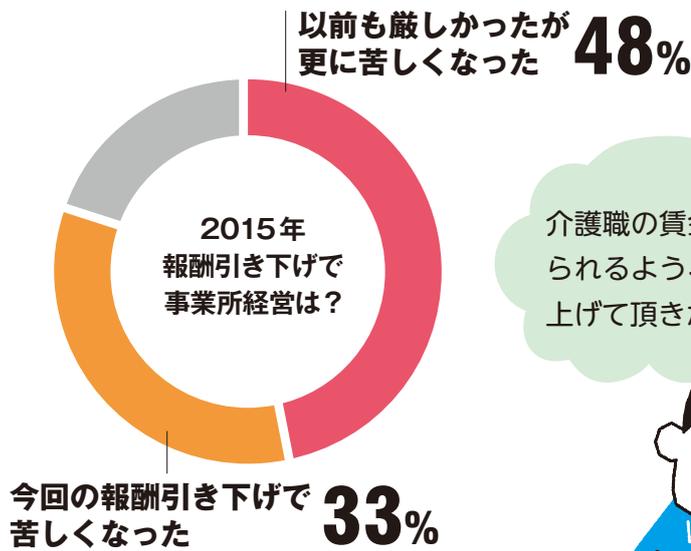
23才から介護職で働き30代。正職でも手取りは20万いかない。生活は苦しく、家も買えず、教育資金も貯められません。介護の仕事は、おむつ交換、食事介助、入浴など体力的にも精神的にもきついです。30万くらいあれば少し安定しやる気も出るが、給料の安さ=ストレスの連鎖です。



# 事業所の運営を悪化させ、サービス低下につながる 介護報酬削減はストップを



## 事業所アンケート(デイサービス、ホームヘルプ)より



介護職の賃金を上げられるよう、報酬を上げて頂きたい。



給与も上げられず、人員不足で職員に負担がかかり、介護職離れ…という悪循環。役員報酬もパートの賃金以下でデイサービスをしている状況です。

ヘルパーを募集しても全く応募がない。人手不足に賃金低く、このままではいつまでも慢性的な人手不足は解消されない。国からの援助金等上げてほしい。

提案  
します

## 介護を受ける人も、ささえる人も 安心できる介護制度に

国は

特別養護老人ホームなどの抜本的増設を

介護保険料・利用料の負担を軽減し、経済的理由で介護を受けられない人をなくす

介護報酬を引き上げ、介護・福祉労働者の賃上げと労働条件の改善を

京都市は

年金で安心して暮らせる施設を確保する

特養ホームの整備目標を引き上げる

保険料減免を使いやすく拡充し、利用料の減免制度をつくる

市内1万5千人の介護労働者に対し給付金などで働く応援を

税金の集め方、使い方を変えて社会保障の充実を

